



橋本橋下流の瀬。石が大きく流れも速い尺アユの実績ポイントだ



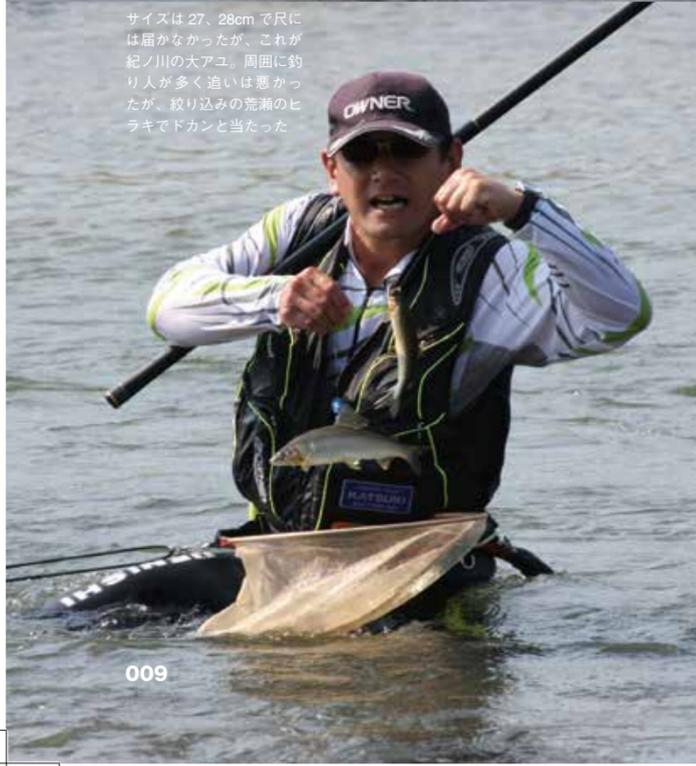
2013年は8月に入っても小型から大型まで釣れるサイズはバラバラだった

お盆をすぎれば尺アユがドカン！ 蕩々と流れる大河

紀ノ川

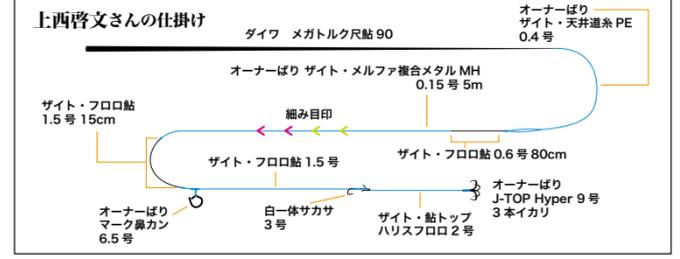
橋本市から紀ノ川市を経て和歌山市を流れる紀ノ川は県内で最も人口が密集する地帯を流れているだけに注目度は低いが大アユとなれば話は別。荒瀬にでかいオトリをねじ込んでスリル満点の釣りを楽しもう！

解説◎上西啓文

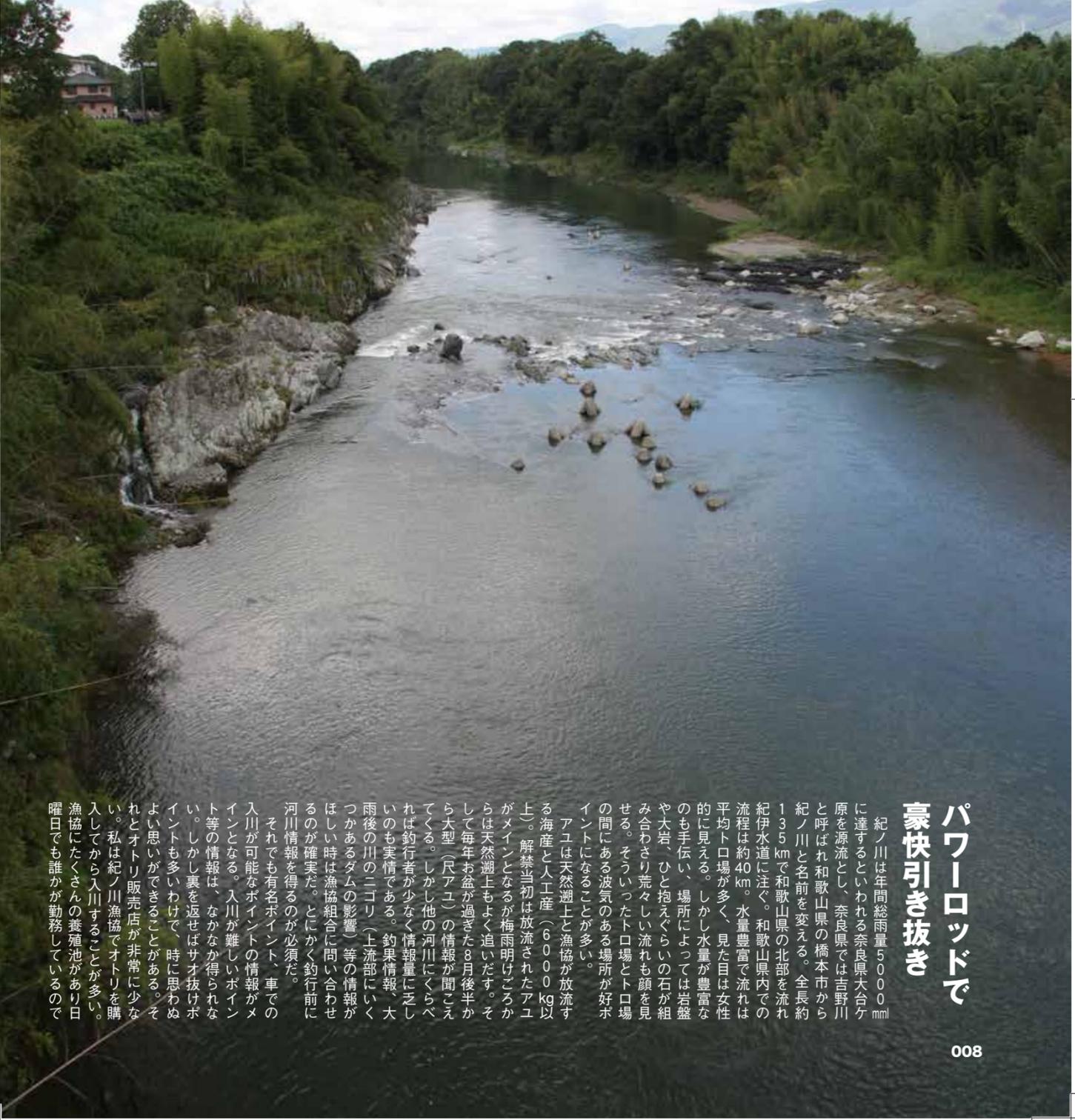


サイズは27、28cmで尺には届かなかったが、これが紀ノ川の大アユ。周囲に釣り人が多く追いは悪かったが、絞り込みの荒瀬のヒラキでドカンと当たった

パワータイプのロッドで大型アユを豪快に引き抜く最高にスリリングな瞬間。2013年8月11日、午後3時、上西さん至福の時



確実に購入できる。仕掛けは人それぞれであるが私は解禁当初なら0.03〜0.06号の金属イト、複合メタルをメインにハリスは6〜7.5号の4本イカリを使用。サオは9〜9.5mで中硬クラス。大型の時期になれば0.1〜0.2号の金属イト、複合メタル。ハリスは8.5〜10号の3本イカリ、または3本チン。サオは25cm以上のアユが難なく抜けるパワータイプを使用。寄せて取り込むのであれば普通のサオでも対応できる。ただ25〜28cmのオトリを操作するには硬めのサオが使い勝手が良い。気を付けたいのがアユがよく掛かるポイント（特に流れの弱い場所）にはニゴイ、ナマズも多いこと。特にニゴイは大きいのでイトが切れればよいが、無理をすると大切なサオを折ってしまうことがあるので気を付けたい。もし掛かったらサオでタメずに下ザオにイトを切るほうが無難だ。



パワーロッドで豪快引き抜き

紀ノ川は年間総雨量5000mmに達するといわれる奈良県大台ヶ原を源流とし、奈良県では吉野川と呼ばれ和歌山県の橋本市から紀ノ川と名前を変える。全長約135kmで和歌山県の北部を流れ紀伊水道に注ぐ。和歌山県内での流程は約40km。水量豊富で流れは平均ト口場が多く、見た目は女性的に見える。しかし水量が豊富なのも手強い、場所によっては岩盤や大岩、ひと抱えぐらいの石が組み合わさり荒々しい流れも顔を見せる。そういったト口場とト口場の間にある波気のある場所が好ポイントになることが多い。

アユは天然遡上と漁協が放流する海産と人工産（6000kg以上）。解禁当初は放流されたアユがメインとなるが梅雨明けごろからは天然遡上もよく追いたす。そして毎年お盆が過ぎた8月後半から大型（尺アユ）の情報が聞こえてくる。しかし他の河川にくらべれば釣行者が少なく情報量に乏しいのも実情である。釣果情報、大雨後の川のニゴリ（上流部にいくつかあるダムの影響）等の情報がほしい時は漁協組合に問い合わせるのが確実だ。とにかく釣行前に河川情報を得るのが必須だ。

それでも有名ポイント、車での入川が可能なポイントの情報がないと。入川が難しいポイント等の情報は、なかなか得られない。しかし裏を返せばサオ抜けポイントも多いわけで、時に思わぬよい思いがでることがある。それとオトリ販売店が非常に少ない。私は紀ノ川漁協でオトリを購入してから入川することが多い。漁協にたくさんさんの養殖池があり日曜日でも誰かが勤務しているの



長い瀬なので流れの変化のある場所(馬の瀬、両岸のカゲアガリ)、アユの付きそうなところをじっくり釣ろう



高野参詣大橋下流。ここは長い瀬になっておりポイントが多い。両岸からサオをだしたい



高野参詣大橋上流。写真の上流部に見える左岸をねらいたい



●慈尊院
九度山町にある高野山真言宗の寺院。国宝・木造弥勒坐像などを所蔵



●真田庵
高野山に蟄居を命じられた真田幸村父子の屋敷跡に建てられた寺院。正式には善名称院という。牡丹の名所になっている



④ 紀ノ川漁協無人オトリ販売所
九度山駅からすぐの丹生川沿いにある漁協の無人オトリ販売所だが水温が低いシーズン初期のみの営業。紀ノ川漁業協同組合 ☎0736-66-9111

- 凡例**
- ① オトリ店
 - ② 駐車スペース
 - ★ 入川口、入川道
 - 📷 撮影場所・方向
 - WC 公衆トイレ
 - GS ガソリンスタンド
 - 🏪 コンビニ



① 最上流部の釣り場。写真の下流部に見える瀬肩〜瀬ポイントとなる。岩盤、大石がねらいめ



② ここも岩盤の溝など変化のある場所をねらいたい。ところどころに深みがあるので足下に注意



③ 恋野橋下流。真ん中に見えるテトラをねらってみよう。ここも深いところが多いので足下、取り込み要注意



④ 橋本橋上流のマッシュン下。右岸の瀬肩、中州周り、特に右岸と左岸の流れの合流点下流の淵にある大石がねらいめ



⑤ 橋本橋上流。写真の奥に見える橋本橋の下流部が尺アユの本命ポイント



⑥ 支流の丹生川の赤瀬橋下流。このあたりは岩盤が続く。波立ち付近の岩盤がねらいめ



⑩ 岩盤と石が適度に入っており変化の多い流れが続く



⑨ 瀬の下流に淵がありアユの捕給が効く。左岸のアシ際なども攻めたい



⑧ ここもキャンプ場付近なので川遊び客に気を付けたい



⑦ キャンプ場付近なので川遊び客の少ない時に入川したい。淵に遊泳者がいれば上流部がポイントになる

紀ノ川漁協管轄の上流部にあり、毎年お盆明けごろから大アユが出る実績ポイントが集中している。特に恋野橋下流から橋本橋下流部のテトラ、岩盤、大石などがからむ瀬肩、瀬落ちのトコ場が大型(尺アユ)の実績場である。そのなかでも橋本橋下流の瀬落ちの淵、テトラ前のトコ場で尺アユの出る可能性が高い。橋本橋付近は車での入川が可能で有名ポイントであるため、大型が出る時期は釣り人が多くなる。

高野参詣大橋付近は慈尊院前の瀬が有名ポイント。ここは丹生川の合流部下流の波立ちから頭大からひと抱えぐらいの石がびっしり入っている。長い瀬のなか、左岸寄りの溝になっているところ、左岸アユがよく付いているところ、ここも良型が出る。尺まではいいかな。この解禁当初からよく釣れる。(右岸の道路から見える)瀬や荒瀬も良型が出ることもある。このあたりは入川が難しいこともあり、情報量が少ないのでサオ抜けになっていくことが多い。一度、サオをだしてみても面白い。

支流の丹生川(紀ノ川漁協の管轄は関西電力堰堤跡まで)は川幅が狭い渓谷相であるが、その分ポイントが絞れやすい。9mサオが振れるところもあるが8m前後のサオがベスト。この川は型よりも数ねらいの釣り場である。

1 マルセ(高野参詣大橋)

かつらぎ橋、竹房橋

紀ノ川の中流エリア。友釣りができるのが、ほぼこのエリアの竹房橋下流ぐらゐまでである。かつらぎ橋上流が2015年から友釣り専用区になるらしい。舟岡山友釣り専用区には紀ノ川には少ない長い瀬があり好ポイントがある。竜門友釣り専用区は藤崎頭首工下流100m地点(堰堤上下流が禁漁区のため)から新竜門橋上流が好ポイントである。ここは解禁当初から後期まで実績があるポイントで入川者も多い。頭首工下のト口場、瀬落ちのト口場までがポイントとなる。ここには大岩なども多い。どちらからでもサオをだせるが先に右岸からサオをだし、右岸からカバーしきれない左岸は、左岸側から釣りたい。頭首工下流の瀬肩のト口場では良型もまじる。瀬肩、瀬の中には大岩が点在しており好ポイント。特に水が高い時は左岸寄りに変化のあるポイントができ、数がねらえる。左岸ギリギリを下げながら上げていきたい。どの瀬でもそうだが水量が多い時はオモリ、背バリ等を使用してしっかりと底にオトリを入れよう。このエリアのイチオシポイントである。最後に紀ノ川全体にいえることだが入川道から川に入る際には必ず4WD車で入川してもらいたい。砂利や砂地の場所を通ることが多いのでスタックの可能性が非常に高い。

紀ノ川漁業協同組合増殖研究センター (オトリ)



貴志川合流点近くにある紀ノ川漁協でオトリを購入できる。ただ8時半オープンなので早朝からの釣りには間に合わない。(☎0736-66-9111)



漁協事務所には尺アユの魚拓が飾られている。これは2003年10月9日に釣れた32cm、345g。釣りは何と紀ノ川漁協の現組合長・井上博紀さん



3 麻生津大橋の上流付近。左岸の瀬肩〜中州周辺が好ポイント



2 同じく、兄井樋門付近。中州周りの波立ち、流れの変化付近がポイント



1 兄井樋門付近。ト口場からの流れ出しの波立ちから好ポイント



4 麻生津橋の下流付近。長い瀬が続き右岸の溝、左岸からの流れ込みとの合流点付近をじっくりと釣りたい



5 藤崎頭首工下流で新竜門橋上流にあたる場所。解禁当初からの実績も高い。瀬肩から瀬落ちのチャラ瀬までがポイント。頭首工横の左岸に駐車場があり左岸からも入川可能



7 竹房橋付近の右岸側から車での入川が可能。4WD車に限る



6 竹房橋上流。瀬肩〜瀬の左岸が好ポイント

喫茶軽食 TOMOTOMO (オトリ)



紀ノ川では唯一の民間オトリ店。大門口大橋南の信号から少し東へ行ったところにある。(☎0736-22-2589)

紀ノ川のオトリ店
喫茶 TOMOTOMO ☎0736-22-2589
紀ノ川漁業協同組合 ☎0736-66-9111

Guide

- 管轄漁協 紀ノ川漁業協同組合 (☎0736-66-9111)
- 解禁日 紀ノ川本流は5月の第3土曜。丹生川(龍玉溪)は5月の第1土曜
- 入漁料 年券は1万円+消費税、日券は3000円+消費税。18歳以下は無料。年券には顔写真の貼付が必須
- 釣況問い合わせ テレホンサービス (☎0736-66-9777)
- 交通 阪和道の和歌山北、和歌山ICから川沿いを上流に向かうか、大阪府河内長野から国道371号で橋本方面に向かう、もしくは奈良県側からは五條道路で橋本方面へ